

国際広報メディア・観光学専攻

国際広報メディア研究コース

令和6年度

前期

日本語論述

10:00～12:00

解答上の注意

1. 試験開始の合図があるまで、この問題紙を開いてはならない。
2. 問題紙はこの紙を含めて2枚ある。
3. 解答用紙(25字×40行=1000字)は2枚ある。
4. 解答用紙は2枚とも必ず提出すること。
5. 受験番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
6. 選択した問題番号はすべての解答用紙の指定された箇所に必ず記入すること。
7. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。
8. 下書き用紙は別途配布されるが、問題用紙の余白を下書きに使用しても差し支えない。
9. 問題紙および下書き用紙は持ち帰ること。

以下の問題 1～4 のうちから 1 題を選択し、1600～2000 字の日本語(横書き)で記述しなさい。なお、適当な箇所で行って段落に分けること。また、字数は改行のための空を含めて計算する。

【問題1】

オリンピックやワールドカップなど、国際的なスポーツイベントが開催されるとき、多くの選手、スタッフ、来場客が海外から来日するため、イベントの運営会社や開催地の自治体が行日外国人の通訳をするボランティアを募集する。大学生など多くの一般市民が応募し、協力している。また、京都など国際的に有名な観光地でも多くの学生ボランティアが通訳を務めている。このような通訳業務を一般市民がボランティアで務めることの是非について具体的な利点と問題点を挙げながらあなたの立場を論じなさい。

【問題2】

あなたが勤める食品会社は、長い研究開発の末、ダイエット効果の高い健康食品を開発した。そして今、マーケティング部門責任者のあなたは、その商品の宣伝について、SNS のインフルエンサーマーケティングとテレビコマーシャルのどちらの手法を使うべきか悩んでいる。製品のターゲット層、予算、広告効果などを考慮して、どちらの手法を選ぶか、あなたの考えを論じなさい。

【問題3】

小説、映画、音楽、テレビドラマ、アニメ、ゲーム等には「ジャンル」が存在する。ジャンルは間テクスト的な性質をもち、ジャンルが成り立つためには、作品の作り手だけではなく、受け手すなわち観客や鑑賞者による関与も欠かせない。ジャンルが成立するために作り手と受け手はそれぞれどのように関わるかを説明しなさい。それをふまえて、ジャンルという区分けは新しいものを生み出すことに寄与するのか、それともその障害となるのか、どちらかの立場を選んで、あなたの考えを論じなさい。

【問題4】

近年、かつてない規模と速度で大量の情報がインターネット上で公開され、拡散されるようになってきた。そうした情報を組み合わせれば、諜報機関や専門のジャーナリズム組織に属さない一般市民でも、パソコンやスマートフォンを駆使して、犯罪や戦争の実態を調査することができるようになった。このような調査方法の特徴や普及した理由について具体例を挙げて説明したうえで、このような調査方法がもたらす利点と問題点についてあなたの考えを論じなさい。